

おじいちゃん、事故にあわないように気を付けてね



敬老の日に合わせて、養老地区交通安全協会と養老警察署が企画した「交通安全愛のメッセージ作戦」が実施されました。高齢者の事故防止を食い止める目的として、管内の小学1年生が運転する祖父母などに向け、交通安全を願うメッセージを送りました。

9月17日(金)には、養老小学校1年生の山幡泰聖くんが、祖父の清己さんに向けて「おじいちゃん！山にいくときにじこにあわないようにきをつけてね」とメッセージの書かれたカードと写真入りのキーホルダーを手渡しました。受け取った清己さんは「孫からもらった手紙は特別。毎日見たい」と話し、交通安全に対して意識を高める企画となりました。

ものづくりと働く人の気持ちを学ぶ



9月22日(水)に、上多度小学校にて株式会社松永製作所(大場)による出張講座が行われました。同社は車いす製造の国内トップシェアを誇るメーカーです。また、パラリンピックにおいても、選手たちが使用する車いすのメンテナンスなどにより大会を支えました。

児童たちは、講師から車いすの構造や製造工程について教わり、理解を深め、その中で生まれた質問をすることで、“ものづくり”について学びました。また、仕事を選んだ理由や、仕事に対する思いなど“働く人の気持ち”についても興味津々で、なぜ？どうして？とたくさんの質問を投げかけていました。

講師の興梠由樹さんは「子どもたちが車いすを身近に感じ、養老町で作られていることを誇りに思ってもらえると嬉しいです」と話しました。

ひとに健康を、まちに元気を！



10月4日(月)に明治安田生命保険相互会社岐阜支社(岐阜市)より、社会福祉事業(地域住民の健康増進)に対し41万500円を寄附していただきました。

明治安田生命は地域に密着した生命保険会社を目指し、地域の住民の暮らし・健康を豊かにするための取り組み「地元の元気プロジェクト」を全国各地で展開しています。6月には健康増進に関する連携協定と高齢者などの見守り活動に関する協定を締結しましたが、健康増進に関する連携協定は町としては初めてとなります。木下健一支社長は「健康で元気なまちづくりを実現するために、一過性で終わらせず、継続していくことが大切だと思います」と思いを語りました。

いただいた寄附は、町の健康増進事業に対して有効に活用させていただきます。